

令和 3 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×19 件= 計 950 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
4 年 目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
	京都薬科大学 病態薬科学系臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
3 年 目	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関する因子の検討
	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメージングプローブの創製とその応用
	日本医科大学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) / 共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開
2 年 目	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
	徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明
新 規	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室	大喜多 守	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究
	北海道大学大学院先端生命科学研究院	北村 朗	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロン RNA の実証
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	久米 利明	新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究
	岐阜薬科大学	田原 耕平	粘膜バリア突破型微粒子による革新的 DDS の創製と細胞機能制御
	三重大学 大学院医学系研究科 統合薬理学分野	西村 有平	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索

◆ 特別研究助成 (1件250万円×7件 = 計1,750万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
2年目	大阪大学大学院薬学研究科	笠井 淳司	中枢疾患創薬を加速する全脳細胞解析による不安障害の標的分子の探索
2年目	国立循環器病研究センター 研究所 病態代謝部	堀 美香	家族性高コレステロール血症における PCSK9の意義の解明と病態モデルの開発
2年目	京都薬科大学統合薬科学系	高田 和幸	アルツハイマー病に対する自己幹細胞由来免疫細胞を利用した細胞性医薬品の開発
新規 薬学系	大阪大学大学院薬学研究科	樋野 展正	がんゲノム変異により異常をきたすタンパク質間相互作用の効率的同定と新規創薬標的の探索
新規 薬学系	京都府立医科大学大学院 医学研究科	大庭 誠	がんの核酸医薬治療を目指したペプチド材料の開発
新規 医学系	神戸大学医学部附属病院	福本 毅	Hippo-YAP 経路によるメラノサイトの老化制御のがん化進展における役割の解明とその新規作用点を標的とする独創的治療戦略の開発
新規 医学系	公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院	稲野 将二郎	ユビキチン化酵素融合 nanobody から創り出す、新しい細胞内分子標的がん治療